

みはま 議会だより

12月議会
第4回定例会
第152号

| | |
|-------------------------|-------|
| 新年のあいさつ・子ども議会 | 2 |
| 12月議会の審議結果のご報告 | 3 |
| 町政に聞きました | 4 |
| こんな質問がありました | 12 |
| 区長会との懇談会・議会報告会を開催 | 13 |
| 委員会レポート | 14 15 |
| 議会活動をお知らせします | 16 |



新年のご挨拶

議長 谷 重幸



新年明けましておめでとうございます。

町民の皆様におかれましては健やかに新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

日頃より議会運営、議会活動に対しましてあたたかいご理解、ご協力を賜っておりますこと厚く御礼を申し上げます。

さて、長らく続いたコロナ禍も収まりつつあり、皆様にも日々の生活が戻っていることかと思えます。また、新年早々発生した能登半島地震等、自然災害が猛威をふるい、災害に見舞われた方々にお見舞いを申し上げるとともに、我々町議会にとりましても、気を引き締めなければならない。そう誓う年明けとなりました。防災はもちろん、産業、教育さらには少子高齢化、人口減少等、町の課題は多いわけではありますが、住民福祉の増進を図るべく我々議員一同結束をして、議会活動に取り組んでいかなければなりません。

また議会では、議会基本条例や取り組み事項の改訂、議会の災害対応指針の取り扱いについての議論を進めているところであり、これらを本年中にまとめることを念頭に、議会改革として取り組んで参ります。

今後とも、我々町議会に対してご支援、ご協力をお願い申し上げますとともに、町民の皆様にとりましても実り多い、また幸多き一年となりますよう、ご祈念申し上げ、年頭の挨拶といたします。

子ども議会

11月22日、松洋中学校3年生による子ども議会を開会。

1組・2組が入れ替わりで議場へ入り、各組6班に分かれて、代表12人が議員として、町の活性化・少子化対策・防災対策等の提案や質問などの一般質問を行った。



12月議会の審議結果のご報告

12月定例会は、12月12日から15日までの4日間の会期で開き、条例の一部改正、令和5年度一般会計補正予算など審議を行いました。

賛成…○ 反対…× 欠席…欠 退席…退

| 件名 | 議席番号 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 |
|--|-----------|-----|------|------|------|------|------|------|------|-----|------|
| | 議員名 結果 | 谷重幸 | 北村龍二 | 古山経生 | 松下太一 | 山崎悦子 | 碓井啓介 | 繁田拓治 | 龍神初美 | 谷進介 | 鈴木基次 |
| 和歌山県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体数の減少及び和歌山県市町村総合事務組合規約の変更について | 賛9・反0 | — | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 美浜町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について | 賛9・反0 | — | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 美浜町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について | 賛9・反0 | — | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 美浜町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について | 賛9・反0 | — | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 美浜町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について | 賛9・反0 | — | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 美浜町営住宅条例の一部を改正する条例について | 賛9・反0 | — | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 美浜町手数料徴収条例の一部を改正する条例について | 賛9・反0 | — | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 令和5年度美浜町一般会計補正予算（第8号）について | 賛9・反0 | — | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 令和5年度美浜町一般会計補正予算（第9号）について | 賛9・反0 | — | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 令和5年度美浜町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について | 賛9・反0 | — | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 令和5年度美浜町介護保険特別会計補正予算（第3号）について | 賛9・反0 | — | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 令和5年度美浜町後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）について | 賛9・反0 | — | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 令和5年度美浜町下水道事業会計補正予算（第1号）について | 賛9・反0 | — | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 令和5年度美浜町水道事業会計補正予算（第2号）について | 賛9・反0 | — | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 農業委員会委員の任命について | 賛9・反0 | — | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

※議長は採決に加わらないため「—」で表示

町政に聞きました!

一般質問 7議員が登壇

1 碓井 啓介 5ページ

- 三尾地区ヘリポートについて
- 津波一時避難場所について

2 北村 龍二 6ページ

- 避難困難地域の定義とは
- このままでいいのか、避難困難地域の対策
- 美浜町にはアメリカ村がある

3 繁田 拓治 7ページ

- 学校教育について

4 山崎 悦子 8ページ

- 住民の健康について
- 地方創生事業について

5 松下 太一 9ページ

- 津波避難訓練と一時避難場所について

6 古山 経生 10ページ

- 中高生に集いの場を

7 谷 進介 11ページ

- 町政の進め方
- 所信表明より

一般質問



碓井啓介 議員

ヘリコプター離着陸訓練の結果は

質問

全く問題なく使用出来る施設である

答弁

質問 先頃、三尾地区のヘリポートで離着陸訓練が行われたが、どの様な経緯で行われたのか。

町長 以前より、和歌山駐屯地司令に訓練要請していた経緯もあり、中部方面ヘリコプター隊より、三尾場外離着陸場を使用した、ヘリコプターによる離着陸訓練を実施したい旨使用申請があり、訓練が実施された。

町長 当日は強風の吹くは。

環境下であったが、全く問題なく使用出来る施設であるとの見解を頂いている。

質問 今後の課題等はどうの様に考えているのか。

町長 場外離着陸場の管理を実施していくと同時に、中心部及び道路へと接続するコンクリート部分について定期点検等を行っていき、災害等に備えていきたい。

また、引き続き関係機関に訓練実施等を要請していきたい。



▲ 三尾場外離着陸場での訓練風景

津波一時避難場所

質問 一時避難場所の充実についてどの様な考えで、どの様に進めているのか。

町長 町内の一時避難場所11箇所が備蓄物品を購入し備蓄している。各地区自主防災会の運営に対し、自主防災会運営補助金を活用して頂き、必要な物品を購入して頂いている。避難路等については、各地区からの要望の中より整備を進めている。

質問 一時避難場所の充実、この2年間の進捗は。

町長 2年間で購入した物品は、賞味期限切れ物品の入れ替え他、マンホールトイレ・全方幕テント・多目的簡易ベッド等を購入。

また、避難誘導灯や誘導鉞の設置・避難路に転落防止フェンスの設置、また、感震解錠キーボックスの設置や備蓄倉庫の

新設をおこなっている。
質問 新設された松原地区の一時避難場所と、入山や西山にある避難場所では内容に差が有ると思う。

住む地区の違いで町からのサービスに格差が出る事は避けなければと思うが。

町長 備蓄倉庫の新設や中身も充実していきたいと担当課とも話している。課題については今後も自主防災会と協議しながら進めていきたい。



▲ 県の補助金を利用してつくられた防災倉庫

一般質問



北村龍二 議員

質問

避難困難地域の解消は本当か

答弁

避難困難地域は町内にはない

質問 避難困難地域の定義を町民に改めて伝えて欲しい。

町長 津波の到達時間までに、浸水域外の高台や、浸水域内の津波避難ビル等の安全な場所に避難することが困難な地域だ。

質問 避難困難地域の避難困難者自体は存在すると思うが、それでも避難困難地域は存在しないというのか。

町長 県が策定した美浜町の津波避難困難地域は、美浜町津波避難計画に定めているように、現在まで進めてきた津波一時避難場所の整備により、津波避難困難地域は町内にはないという認識だ。

質問 高齢化も進んでいる。助け合いの人数にも限界がある。果たして町民が逃げられるんだらどうか。避難計画の見直しも検討してみてください。

町長 要支援台帳も作っている。個別行動計画も

作成したいと思っている。地域防災計画の見直しもやっている。

このままでいいのか、避難困難地域の対策

質問 町は、一旦ハード面は終了と6月議会で言っているが、和田東地区や吉原西地区の方から逃げるのが困難だと良く聞く。

また、和田小・松小にたどり着けない、たどり着けても階段だけでは無理だ。スロープを付けてみてはどうか。

町長 まずは最寄りの一時避難場所に、避難して欲しい。スロープは考えていない。現施設の充実を図りたい。

例えば避難訓練の参加者や、皆さんの意見を参考にしながら、避難誘導灯やブロック塀の解体補助金など、無事に避難出来るよう対策したい。

和田地区に高台を

質問 将来必要となれば和田にも高台を考えると。言いが、今作らない高台は今後も作られないのでは。

町長 高台に関しては、必要となれば精査もしながらつくらなければならぬ。地域防災計画にも、謳わなければならない。

スロープは、まだはつきりどうなるかわからないが、検討はしていきたい。



▲ 和田小学校の外付け階段



▲ アメリカ村バス停

美浜町にはアメリカ村がある

質問 カナダのプリティッシュコロンビア州への移民がはじまりだが、もつと名前にこだわり、今以上に観光を含めた道路網やアメリカにつながるような交流や発展を目指しては。

町長 歴史を活用したアメリカ村活性化事業に取り組んでいる。

地元NPO法人と官民協働で取り組んでいる。今後とも引き続き、県道御坊由良線の拡幅や、命の道の要望をしていきたい。

一般質問



繁田拓治 議員

小学校校舎の建て替えは

質問

統合を考えている

答弁

小学校校舎の建て替え
予定は

質問 今の校舎で、松原小は58年、和田小で54年、半世紀以上たっている。60年の耐用年数に近いがどうか。

町長 老朽化はもちろんのこと、最適な教育環境を構築することは最優先課題だ。

教育長 建築当時は最新の思想で建築されたが、施設設備の老朽化が年々進行、現在の基準にそぐわず利便性に疑問。

質問 建て替えの予定は、
町長 児童数減少の現状から、両小学校を統合して新しく創設することが最善策である。

質問 どういった構想をお持ちか。

町長 具体的な構想は、これから様々な観点より熟慮を重ねたい。

教育長 建て替えではなく、両校を統合した新しい学校の創設について、具体的に検討を進める時

期に来ている。

質問 中学校に併設し、体育館、運動場、プール、図書館、特別教室等を用い、施設一体型小中一貫教育校にしては。学力が上がるのは間違いないと言われるが。

教育長 10年、20年先を見据えた学校の在り方を慎重に検討し、先進事例に学び研究を深めたい。

質問 町の図書館、公民館も併設して町民一体型に出来たら、長い目で見て財政面でも大きな効果をもたらすが。

教育長 財政面と整合性をとりながら考えていきたい。



▲ 和田小学校 (昭和44年建築)



▲ 松原小学校 (昭和40年建築)

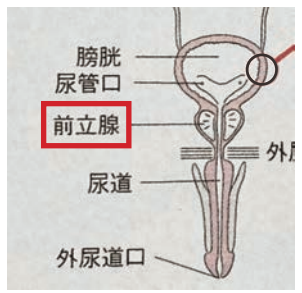
一般質問



山崎悦子 議員

質問 前立腺検査や脳ドック、心・血管ドックの追加を

答弁 再開・追加の予定はない



▲ 出典『看護に役立つ疾患・症候辞典 P907 平成20年4月4日発行 メヂカルフレンド社』

質問 健康診断の項目策定の留意点は。

町長 厚生労働省の指針通りに実施している。

質問 指針も大事かもしれないが、住民の健康を一番に考えて策定すべきでは。

町長 住民の健康は大事であるが、国の指針に基づき実施することも大切と考える。

質問 前立腺PSA検査の開始後、前立腺がんの死亡数が減少していると専門医の報告もあり、当町における過去の結果からも、十分に有効であったのでは。

町長 厚生労働省の指示で中止したので、実施は

考えていない。オプションで受けられる。

人間ドック

質問 生命に直結する脳や心臓・血管のドックを選択肢に追加すべきでは。

町長 1日ドック、2日ドックを実施しているが、選択肢を増やすことで助成額が膨らみ、国保税の負担が多くなる。

質問 選択肢が増えるだけで、重複健診はしないから、助成額が膨らむとは考えられない。

他町においても脳ドック等実施されている。同じ国保税によるドックなのに、他町では実施できて、わが町では税が上がるからできないというのは、なぜか。

子育て健康推進課長 国保税は財政の豊かなところと、所得の少ないところとの差があり、同じではない。被保険者が減ってきて、



▲ カナダミュージアム

所得が少ないところは高くなる。

地方創生事業

質問 (事業開始6年目)現在の事業達成度と次年度に向けての考えは。

町長 達成度は定めていないが、仮に指定管理料ゼロの自立を達成と考えるならば、NPO法人日ノ岬アメリカ村は20%、一般社団法人煙樹の杜は25%である。

質問 指定管理料がゼロになるまで継続させたいという考えか。

カナダミュージアムは、カナダ移民の歴史資料館として、町で運営できるのではないか。



▲ 松カフェ (煙樹の杜)

町長 来年度も地域の活性化や賑わいの創出を目指すとともに、少しでも指定管理料を下げたい。指定管理料を下げていくように、官民協働で取り組んでいきたい。

質問 地方自治法に、「指定管理者の指定は期間を定めて行うものとする」とあるが。

町長 毎年1年区切りで指定管理している。もうやっていけないと町が確認すれば、指定管理は切っていくが、まだそこまで至っていない。

一般質問



松下太一 議員

これでいいのか避難訓練

質問

より現実的な訓練に

答弁

質問 和田・吉原への避難タワー建設は必要なしと考えているのか。

第2回定例会で、避難施設の整備については終わりだと発言されているが、大雨ごとに浸水するところがあり、津波のときのことを考えると避難が困難な状況であり、大変不安な毎日を送っている。

この地域の皆さんは、避難タワー建設を強く望んでいる。

町長 この議場で避難タワーが絶対必要になるということになったら考えていきたい。

ただ、どこにでも建設するのではなく精査していかねばならない。

質問 一時避難場所のひまわりこども園について、屋上に至る階段は一か所しかなく、階段やスロープを増やすといった、もっと充実した避難施設にできないのか。

町長 階段については、

担当課に指示し、現在検討している。

質問 マンネリ化した避難訓練を見直す考えはないか。

毎年同じような流れで形式的に訓練をしていないか。

本当に人の命を守ることのできる訓練を考えないか。

町長 今年度初めて新たな取り組みとして、訓練終了後に開設・運営・炊き出し訓練を実施した。今回、初めて実施した避難所開設訓練を応用しながら、より現実的な訓練になるよう考えている。

質問 保育所の園児や小・中学校の児童・生徒と地域が一体となった避難訓練の実施を考えないか。

地域一体での防災訓練を受けていけば、実際の震災の際には、避難所等では大変戦力となる。

しかし現在は、訓練においての学校と地域との

相互交流がない。

町長 小・中学校の児童・生徒のみなさんが参加するために、今後は教育課と協議し進めていきたい。

教育長 児童・生徒と地域が連携し、一体となった訓練の実施の必要性は認識している。

自分で判断し、地域と協力し、実践力をつけ、自分も地域の一員であるということ認識することも重要であると考える。毎年の訓練を学校行事の一環として位置づけ参

加することを出発点に、学校行事の調整、町長部局、担当課との連携、地域住民の皆様の理解、協力が不可欠。

まずは、学校との協議を進めていきたい。

質問 副町長に問うが、今回の避難訓練についてどう感じたか。

副町長 訓練に対する啓発については、町としては十分であり、参加率は30%そこそこであるが、内容についても十分な避難訓練をしていると考える。



▲ 屋上へ (ひまわりこども園)

一般質問



古山 経生 議員

質問

中高生の遊び場を
つってほしい

答弁

まずは、
第1若もの広場の改修を

質問 上田井地区の高台において、中高生がスケートボードをして危険との声が寄せられている。そこで、中高生たちが集えて自由にスケートボードやそれ以外の遊びができる広場をつくることはできないか。

町長 高台でスケートボードをしている中高生に対しては、禁止の看板を設置し注意喚起している。

現在第1若もの広場を全面改修し、グラウンドの人工芝生化と附帯設備を刷新、テニスコートやゲートボールコートなど再整備と再配置を進める。中高生たちが集える広場をつくることはこのことだが、第1若もの広場の改修をまずは進めていきたい。

質問 中高生の遊び場をつくって下さいという答えが、若もの広場を改修していますというのは違うのでは。

若もの広場は、3日前までの予約が必要で使用料も発生する。若者が自由に集える場と言えるのか。

改修しているのなら、その中に中高生が利用できるスペースを入れられないのか。

町長 スケートボードについては、近隣からの苦情が多いことから難しい。バスケットのハーフトコートについては、今進めている第1若もの広場の改修に追加できるのかどうか確認していきたい。

若もの広場にはサッカーのコートもできる。自由な遊び場は、近隣の方の苦情もあり、美浜町としてつくるのは難しい。

質問 中高生が家に閉じこもってパソコンばかりだとA-1が話しているような感じになるのではないか。

少しの場所をつくり、コンクリートを張るだけならそんなにメンテナンス

スモ要らないのでは。

町長 若者たちが機械やゲームばかりして、心のないような子に育つのはよくないと感じる。スケートボードをする若者は町内でなく近隣から来ているのではと思う。

それに対して広場をとというのは難しい。子どもたちには伸び伸びしてほしい。

ただ、中学生なら中学校のグラウンドなど空いているときに使ってもえればと思う。



▲ 上田井高台

一般質問



谷 進介 議員

小学校新設の課題や方向性は

質問

統合し創設が最善策、令和6年度より最優先で

答弁



▲ 統合される？小学校

【質問】 過去7回ほど、質問もした。小学校新設の課題や方向性は。

また、この施策の重要度や優先度はどれ程と考えているのか。

【町長】 庁内で検討に至っておらず、深くおわび申し上げます。

方向性は、両小学校を統合し、新しく創設することが最善策と考える。

また、最重要施策と認識し優先度も同様で、令和6年度より、施策に反映していく。

【質問】 大変評価できる答弁内容だが、今回の内容に変わったのはなぜか。

【町長】 議員の質問を受け、いろんな課題を協議した結果、今という結論に至った。

【教育長】 子どもたちのために、新設のメリットが大きいと考え、転換した。

【質問】 次年度は、必ず最優先で取り組むということか。

【町長】 最優先でやっていきたい。

所信表明より

【質問】 「一人の犠牲者も出さない災害に強いまちづくり」の重要施策等の説明を。

【町長】 地震から命を守ることに優先で、家屋の耐震診断や耐震補強工事、耐震ベッド及び耐震シェルターや感震ブレイカー設置、古家解体費用補助、また、ブロック塀等の撤去改善への補助や避難路への避難誘導灯の設置など、今後も一人の犠牲者も出さない災害に強いまちを目指して、取り組んでまいりたい。

【質問】 令和5年では、表題は同じだが内容が違う。なぜか。

【町長】 重要施策は、2期目はソフト面にと、変わったこと。

【質問】 地域防災計画で2034軒が全壊とされ、千人、二千人の被災者は明白である。

例えば、耐震シェルター

ターベッドを配ったらどうか。

被災者を一人も出さないと言つのなら、それぐらいはしかるべきではないのか。

【町長】 財政もいろいろ考えながら、相談、協議していきたい。

【質問】 住民の命を守るためなら仕方がない。

【町長】 そう言っていただければ、そういう支援制度を協議していきたい。

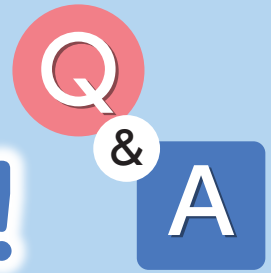
【質問】 地域の方が、分速30m(徒歩)で間違いない一時避難施設に避難できるのか。

【防災まちづくりの課長】 現状は避難できるイメージです。



▲ 耐震シェルターベッド

こんな質問がありました!



◆条例の一部改定

美浜町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

人事院勧告に伴う改正。
Q 改正による増額の総額は。

A 常勤一般職の給与手当の総額は、830万8千円、特別職の総額12万2千円。

美浜町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

常勤職員の給与改定に係る取扱いに準じて改定するための改正。
Q 改正によつての予算は。

A 845万5千円。

美浜町国民健康保険条例の一部を改正する条例

法改正に伴い、出産被保険者に係る産前産後期間の所得割額及び均等割

額の減額規定を追加するための改正。

Q 単胎妊娠と多胎妊娠の減額の額は。

A 所得割は個人によつて変わる為、均等割のみになる。

単胎妊娠の場合1万3334円、多胎妊娠の場合2万円。

Q 施行は、令和6年1月1日からとのことだが、適用は。

A 令和6年1月以降との事なので令和5年度においては11月出産からとなる。

美浜町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

内閣府令の改正に伴う改正。

美浜町営住宅条例の一部を改正する条例

法改正に伴い、配偶者

からの身体に対する暴力又は生命等に対する脅迫を受けた被害者を特に居住の安定を図る必要がある者とし、入居の資格として認めるための改正。

Q こういう方々の場合住所等の秘匿などの規定はないのか。

A DV法の中にあるかも分からないが、今回は住宅条例の入居資格の改正である。

美浜町手数料徴収条例の一部を改正する条例について

政令の改正に伴う改正。

◆その他

和歌山県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体数の減少及び和歌山県市町村総合事務組合規約の変更

「上大中清掃施設組合」が解散することによる変更。

農業委員会委員の任命について

令和6年3月17日をもって任期満了となるため。

令和5年度一般会計補正予算(第8号)

「ふるさと納税」

Q 美浜町のふるさと納税の返礼品は。

A 美浜町のふるさと納税の返礼品は9割がた湯浅町、広川町のみかん。美浜町の地場産品が少ないので開発できないか取り組んでいくつもり。



区長会との懇談会

10月26日区長会との懇談会を開き、各委員会から順番に活動や重点課題を説明し、区長会からは議会運営や防災などについての質問や意見があり、活発に話し合いが行われた。



議会報告会

11月17日、地域福祉センターで議会報告会を開催しました。

住民約30人の方に来場して頂き、主に9月議会で一般質問した4議員が内容について説明し、各常任委員長が今年度行った活動について報告した。その後、住民さんとの意見交換を行った。



| | | | | | | | | | | | |
|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 津村 | 久保 | 東裏 | 稲葉 | 塩崎 | 狩谷 | 戸田 | 若野 | 岡田 | 龍神 | 田端 | 田淵 |
| 信清 | 博巳 | 幸浩 | 喜宣 | 勝治 | 公栄 | 勲 | 博一 | 悦司 | 茂 | 修一 | 秀樹 |
| (三尾) | (和田) | (和田) | (和田) | (和田) | (和田) | (和田) | (和田) | (吉原) | (吉原) | (田井) | (田井) |

農業委員会委員

人事

地震・津波対策特別委員会

行政視察

【視察日】

10月11日・12日・13日の3日間

【視察地】

北海道 夕張市・芽室町・栗山町

【目的】

財政再生計画について《夕張市》

議会災害時対応基本計画（BCP）について《芽室町》

議会基本条例について《栗山町》



▲夕張市



▲芽室町



▲栗山町

視察を終えて

夕張市：議会は、執行機関のチェック機関である責任を再認識することができた。

芽室町：議会BCPを策定するのかなど各議員の共通認識のもと、協議を進める必要があると感じた。

栗山町：議会基本条例を議論する場、進める目的・方法を明確化し、不断の見直しを行うべきと感じた。

文教厚生常任委員会

行政視察

【視察日】

11月14日・15日の2日間

【視察地】

京都市 京都市立 開晴小中学校
京都市教育委員会

【目的】

小中一貫教育について
教育DXの実現を見据えた取組
(GIGAスクール構想) について



▲京都市立 開晴小中学校



▲京都市教育委員会

視察を終えて

- ・小中一貫教育現場を視察し、取り組み状況等の見聞を行い、今後、我が町で取り入れ可能かを学んだ。
- ・国のGIGAスクール構想に基づき、教育DXの取り組み、学習状況の視察を行い研鑽を深めた。

議会活動をお知らせします

【10月～12月】

《議員の出席した会議や研修・行事など》

10月

| | |
|---------|-------------------------------------|
| 2日 | 和歌山県知事への御礼 議長 文教厚生常任委員会 |
| 3日 | 日高郡町議会議長会 定期総会 議長 |
| 4日 | 議会広報特別委員会 |
| 6日 | 和歌山県人会世界大会 副議長 |
| 10日 | 例月出納検査 議会広報特別委員会 |
| 11日～13日 | 地震・津波対策特別委員会行政視察 |
| 16日 | 日高郡町議会親善ゲートボール大会 |
| 17日 | 近畿地方治水大会 |
| 18日 | 行政視察（福岡県小竹町議会）受入れ |
| 19日 | 全員協議会 文教厚生常任委員会 町表彰規程選考委員会 議長 |
| 20日 | 議会広報特別委員会 |
| 24日 | 和歌山県町村議会議長会 委員長・副委員長研修会 |
| 26日 | 区長会との懇談会 |
| 31日 | 日高郡町議会議長会県外視察研修 議長 |

12月

| | |
|-----|---|
| 4日 | 日高広域消防事務組合議会 |
| 7日 | 議会運営委員会 |
| 8日 | 例月出納検査・定期監査 |
| 10日 | 美浜町農業まつり 総務産業建設常任委員長 |
| 12日 | 第4回定例会（第1日） 全員協議会 総務産業建設常任委員会 文教厚生常任委員会 議会広報特別委員会 地震・津波対策特別委員会 |
| 13日 | 第4回定例会（第2日/一般質問） |
| 14日 | 第4回定例会（第3日/一般質問） |
| 15日 | 第4回定例会（第4日/議案審議） |
| 16日 | 陸上自衛隊和歌山駐屯地年忘れ行事 総務産業建設常任委員長 |
| 21日 | 御坊日高老人福祉施設事務組合議会 |
| 22日 | 御坊広域行政事務組合議会 御坊市外五ヶ町病院経営事務組合議会 |
| 25日 | 消防団年末警戒 議長 |

11月

| | |
|---------|--|
| ～2日 | 日高郡町議会議長会県外視察研修 議長 |
| 3日 | 町政功労者表彰 |
| 10日 | 例月出納検査 |
| 14日～15日 | 文教厚生常任委員会行政視察 要望活動（国土交通省他） 議長 |
| 17日 | 議会報告会 |
| 21日 | 全員協議会 |
| 22日 | 子ども議会 |
| 28日～30日 | 町村議会議長全国大会 議長 要望活動（国土交通省・農林水産省他） 議長 |
| 29日 | 文教厚生常任委員会 |



You Tube 動画配信をしています！

一般質問をYou Tube動画配信しています。
美浜町議会ホームページからも、ご覧になれます。

美浜町議会



あなたの意見をお待ちしております

議会に対するご意見、あるいは「議会だより」を読んだ
の感想など、何でも結構です。

あなたの声をお聞かせください。

《連絡先》

美浜町議会事務局

TEL 23-4958 FAX 23-5544

mail gikai@town.wakayama-mihama.lg.jp

URL <http://www.town.mihama.wakayama.jp/bunya/mihamachogikai/>



議会中継についての
お知らせ

本庁舎1階ロビーと中
央公民館においても、議
会中継が視聴できます。
ぜひ、ご覧ください。